

世界「大倒産時代」到来、ソフトバンクもやばい！

『コロナ大恐慌 中国を世界が排除する』

(著者)宮崎正弘 渡邊哲也

(価格)1400円＋税 (発売日)2020年4月18日 (出版元)ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍「コロナ大恐慌 中国を世界が排除する」を2020年4月18日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

◆世界中で巻き起こる倒産ドミノで「大恐慌」が迫りくる

- ◎中国ビジネスで失敗するGAF A
- ◎中国進出企業とソフトバンクGの末路
- ◎欧米のメディアの批判にさらされる孫正義
- ◎コロナ封じ込め失敗、超監視国家の誤算
- ◎米世論という虎の尾を踏んだ中国
- ◎世界中で反中政権が生まれる理由
- ◎半導体・携帯・ポスト5G、世界「技術戦争」の行方
- ◎米中のコロナをめぐる「情報戦」は危険水域
- ◎世界は台湾の脱中国を見習え
- ◎五輪1年延期はベストな選択
- ◎ついに脱中国に動き出した日本！



【もくじ】より

はじめに 平成の30年を終えて迎えた「戦争の時代」 渡邊哲也

第1章 武漢パンデミックで世界から親中派が消える 第2章 中国排除後の世界 第3章 半導体・スマホ・ポスト5G、世界「技術戦争」の行方
第4章 中国経済に依存した世界の悲劇 第5章 中国進出企業とソフトバンクの末路 最終章 コロナ恐慌でどうする日本

おわりに 総点検、日本企業は中国から逃げられるのか? 宮崎正弘

◆著者

宮崎正弘(みやざき まさひろ)

評論家

1946年金沢生まれ。早稲田大学中退。「日本学生新聞」編集長、雑誌『浪漫』企画室長を経て、貿易会社を経営。82年『もうひとつの資源戦争』(講談社)で論壇へ。国際政治、経済などをテーマに独自の取材で情報を解析する評論を展開。中国ウォッチャーとして知られ、全省にわたり取材活動を続けている。中国、台湾に関する著作は5冊が中国語に翻訳されている。

代表作に『新型肺炎・経済崩壊・軍事クーデターでさよなら習近平』『戦後支配の正体1945-2020』『「火薬庫」が連鎖爆発する断末魔の中国』『余命半年の中国・韓国経済』(いずれもビジネス社)、『中国大分裂』(ネスコ)、『出身地でわかる中国人』(PHP新書)など多数。

渡邊哲也(わたなべ てつや)

作家・経済評論家

1969 年生まれ。日本大学法学部経営法学科卒業。貿易会社に勤務した後、独立。複数の企業運営に携わる。インターネット上での欧米経済、アジア経済などの評論が話題となり、2009 年に出版した『本当にヤバイ！ 欧州経済』（彩図社）がベストセラーとなる。内外の経済・政治情勢のリーサーチ分析に定評があり、様々な政策立案の支援から、雑誌の企画・監修まで幅広く活動を行う。主な著書に『習近平がゾンビ中国経済にトドメを刺す時』『2019年大分断する世界』『GAFA vs. 中国』（以上、ビジネス社）、『～2021 年「世界経済リスク」入門』（徳間書店）、『韓国経済はクラッシュする』（悟空出版）など多数。

【お問い合わせ先】 株式会社ビジネス社 広報担当：松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。